

## 中耕・培土を積極的にを行い、生育の回復を！

5月下旬からの少雨・干ばつの影響により、特に6月上旬から播種したもので、出芽の遅れや不揃いがみられます。また、5月中に播種し、出芽が揃ったところでも例年に比べて生育が遅れています。

このため、圃場の雑草が繁茂することが心配されます。

速やかに中耕・培土を行い、生育の回復と雑草防除に努めましょう。

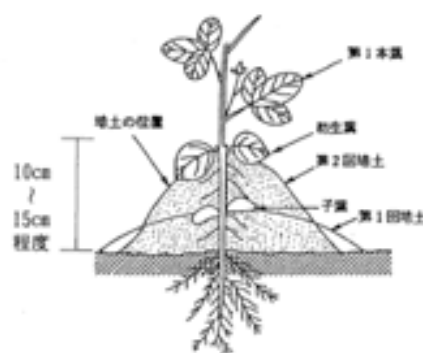
### 今後の対策

1. 生育を回復させるため、できる限り早く中耕・培土作業に入りましょう。

**雑草の発生が目立ってきています！**

2. 中耕・培土が遅れると、雑草の発生が多くなり、除草剤散布など対策が必要になります。

**中耕培土は2回実施！！**



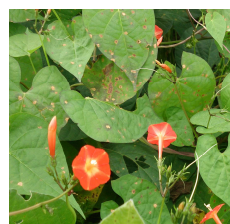
培土の方法

### 除草剤による雑草対策

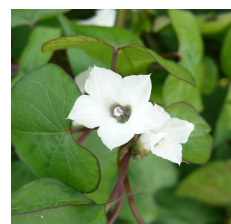
1. 大豆の生育期に使用できる除草剤を選ぶ際には、雑草の種類(イネ科、広葉)、大豆の葉齢、雑草の葉齢・草丈等の確認が必要です。時期を失しないように気を付けましょう。
2. 除草剤は使用基準、使用方法をしっかりと確認し、適正に使用しましょう。畝間や株間処理の除草剤は専用ノズルでの散布となります。

### 帰化アサガオ類、アレチウリの発生に注意！

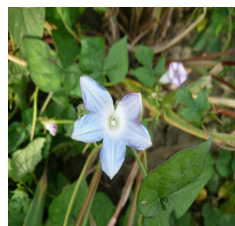
1. 帰化アサガオ類防除のポイント
  - ① 大豆の草高が条間と同じになるまで、概ね2週間ごとに防除(除草剤、中耕・培土)
  - ② つるになる前に手取りする
  - ③ 畦畔からの侵入を防止
2. 大豆圃場で要警戒雑草のアレチウリの発生を確認！



マルバアサガオ



マメアサガオ



アメリカアサガオ



マルバアサガオ



アレチウリ

見つけたら、即、抜き取りや除草剤等で防除を行いましょう。

きゅうりのような葉、トゲのついた実

**STOP！ 農作業事故！** 農作業は計画的にゆとりをもって！